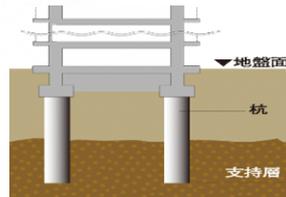


大曲高等学校 校舎棟建設工事 工事だより

『いよいよ工事が本格スタートしました』



12月に入りだいぶ冷え込む日も増えてきましたね。皆様風邪などひかれていませんか？さて、大曲高等学校校舎棟建設工事現場では12月から杭工事に着工しました。大型の重機やクレーン車などが現場に搬入され多少賑やかになってきています。騒音、振動には十分に注意して工事を進めて参りますので、学校関係者・近隣の皆様にはご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。



※杭工事
土中イメージ図

『杭工事ってなにをするの？』

杭工事と言われても何のこと？と思われる方もいらっしゃるかもしれません。



簡単に言うと建物を支える為の支柱を地中深くの支持層と呼ばれる硬い地盤に打込む工事です。まずは地面に穴を掘り、崩れないように固めていきます。次にセメントミルクを入れて工場製作したコンクリート製の杭を打込み安定させます。これによりこの先の工事でできる基礎を支えることができます。縁の下の力持ちという言葉があるように、杭工事は非常に重要な役割を担っています。それでは、現場で実際に行われている杭工事施工中の様子をご紹介します。

①杭打機にて掘削孔を作る



②セメントミルクを注入



④杭の挿入（節無し）

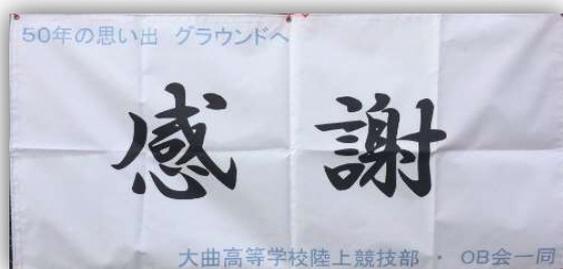


③杭の建て込み（節付き）



この杭の長さ（4本継ぎで）なんと33m！！ビルで例えると11階建て相当です。

『 工事現場の上空からの様子 』 ※ドローンにて撮影（11月末時点）



杭工事着手前にグラウンドのハンマー投げコート等を解体し、工事用通路や仮囲い等、仮設の整備を行いました。歩道側のフェンスには陸上競技部・OB会一同の方がグラウンドに50年の感謝をこめた横断幕を設置されており、たくさんの方に愛されていたグラウンドだったことが伝わります。また、当作業所では大曲高校女子駅伝の全国大会(都大路) 出場をお祝いすると共に、大会でのご活躍を祈念しております。

『 安全祈願祭を行いました 』

工事の無災害を祈願して3JV職員による安全祈願祭を11月30日に執り行いました。



当工事だよりは建築工事JVで執筆しています。
お気づきの点等ありましたら下記までご連絡ください。

大曲高等学校校舎棟（建築）工事 作業所
連絡先：代表 ☎ 0187-73-7740